

抗山神社



相良油田の採掘などで犠牲になった22人の慰霊のために建てられた神社。境内には「石油抗山遭難者之碑」という慰霊碑がある。

庄八屋敷跡



日本で最初に石油の機械掘りに成功した油田跡。日本近代石油産業の発祥地で「わが国石油機械掘り発祥の地」の石碑がある。市指定文化財。

相良油田石油坑

昭和25年に開坑された機械掘井で、現存する唯一の石油坑。深さは310メートルある。県指定文化財。



三枚碑

菅ヶ谷の山並みの峠にあたる場所にある。3枚のうち中央が石坂周造、向かって右が山岡宗之助、左が村上正局の石碑。



相良油田の里公園

山あい位置する、油田跡を整備した公園。緑豊かな芝生広場が広がり、手掘り小屋などの珍しい施設のほか、アスレチックやバーベキューガーデン（＊）などアウトドア設備が充実している。
＊バーベキューガーデンの利用には事前申し込みが必要です。



相良油田資料館に『Dr.STONE』コーナーを開設

【展示内容】 ▶登場スポットマップのパネル▶アニメ第2期ポスター▶単行本▶アニメプロモーションビデオ▶メッセージボード



相良油田の里公園の敷地内にある相良油田資料館には、相良油田に関するさまざまな展示物があり、油田の歴史や当時の様子を学ぶことができます。

相良油田資料館

【所在地】 菅ヶ谷2525番地 1
【開館時間】 午前9時～午後4時
【休館日】 ▶火曜日（火曜日が祝日の場合は翌日）
▶12月29日～1月3日
▶祝日の翌日
（土日に当たる場合は、次の休館日の翌日）
【問い合わせ】 相良油田資料館 ☎02525

漫画『Dr.STONE』に登場する 相良油田 を知ろう！

漫画『Dr.STONE』（原作：稲垣理一郎、作画：Boichi）をご存じですか。作中に「相良油田」が実名で登場したのをきっかけに、相良油田への若者の来訪が増えています。今回は、漫画『Dr.STONE』と「相良油田」の魅力についてお伝えします。

問い合わせ 観光課 水嶋智子 ☎02623

相良油田とは

相良油田（菅山区）は、太平洋岸唯一の産油地です。相良油田の歴史は明治5年、旧幕臣村上正局が海老江（現在の大江区）で石油を発見したことから始まります。その後、日本の石油王・石坂周造の知るところとなり、明治6年、菅ヶ谷に開坑、採油を開始しました。最初は手掘りにより堀削されましたが、この年の10月には、米国製の綱堀り機により日本で最初の機械掘りが行われました。相良油田の原油はガソリンや灯油分を多く含み、極めて軽質な、世界でもまれにみる良質な原油です。明治17年ごろの最盛期には、240抗の井戸から年間721キロリットル（ドラム缶約3600本分）もの原油が産出され、約600人が働いていました。この採油業は明治から昭和にかけて約80年間、相良の一大産業として広く知られていましたが、徐々に衰退。昭和30年ごろ、全ての事業を終了しました。平成19年には、経済産業省の「近代化産業遺産」に認定されました。



明治末期～大正初期の風景
（絵葉書「遠州相良 菅山石油鉱山」(個人蔵)）

『Dr.STONE』とは

平成29年3月から、集英社の『週刊少年ジャンプ』にて好評連載中。コミックスの累計発行部数が750万部を超える大人気漫画です。アニメ第1期は、令和元年7月から12月まで放送され、令和3年1月からは、第2期アニメのテレビ放送とネット配信がスタートします。

【ストーリー】

物語の舞台は、全人類が、謎の現象により一瞬で石化した約3700万年後の世界。文明が滅んだ石の世界（ストーンワールド）で、超人的な頭脳を持つ、根っからの科学少年・千空を中心として、仲間たちと一緒に、科学の力でゼロから文明を作り出していく冒険物語です。物語の中では「科学」が重要な役割を果たしていますが、科学部分が分からなくても、スピーディで引き込まれる展開となっています。

相良油田と『Dr.STONE』

物語の中で、日本から地球の裏側まで航海するための船のエンジンの燃料として「石油」が必要となり、相良油田を目指すこととなります。単行本10巻から11巻にかけて、相良油田が登場します。



◀手掘り小屋
第94話の扉絵で描かれています。再現度の高さに驚きます。



◀相良油田石油坑
第86話に出てきます。どこに出てくるか、探してみてください。